

はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”  
オープニングコンサート

# はつかいち ニューイヤー・ ガラ・コンサート 2021

2021年新春は、モーツァルトのピアノ協奏曲や  
オペラ名曲集とともに！  
さくらびあにゆかりのあるアーティストたち  
による華やかで楽しいひとときを  
お過ごしください。



ピアノ  
中田 博人



指揮  
山上 純司

「はつかいち。モーツァルト、モーツァルト！」  
新春の甘日市、きらめくモーツァルトの楽音、ソプラノたちの声…!



### 【曲目(予定)】

W.A.モーツァルト：オペラ『フィガロの結婚』K.492序曲  
同：ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488  
同：オペラ『フィガロの結婚』K.492、  
『ドン・ジョヴァンニ』K.527、  
『コジ・ファン・トゥッテ』K.588より  
アリア及び二重唱曲集 ほか

※曲目・曲順が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



ソプラノ  
工谷 明子



ソプラノ  
枝松 瞳



ソプラノ  
乗松 恵美



ソプラノ  
柴久美子



ソプラノ  
山口 水螢



ソプラノ  
平福 知夏

2021年1月17日(日) 14:00開演  
(13:00開場)

※はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ大ホール

全席指定(税込) 一般 3,000円  
18歳以下 1,500円 **※ポイント5%付与**

※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※新型コロナウイルス感染症対策のため、座席を削減して発売開始します。  
状況により追加販売する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

チケット発売日 <会員>11月14日(土) <一般>11月21日(土)

プレイガイド エディオン広島本店、フジグランナタリー、  
チケットびあ(Pコード:188-187)、ウッドワンさくらびあ事務室、  
ウッドワンさくらびあオンラインチケット

※安心・安全にコンサートをお楽しみいただくため、ウッドワンさくらびあでは  
感染症対策に取り組んでいます。  
※チケットの半券にお名前・緊急連絡先の記入をお願いいたします。  
※また、裏面記載の<ご来場のみなさまへのお願い>をお読みのうえ、  
ご来場くださいますようお願いいたします。

[主催] (公財) 甘日市市芸術文化振興事業団

[助成] 芸術文化振興基金助成事業





# Profile <出演者プロフィール>



## 山上 純司 (指揮)

1960年水戸市生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。同大学院音楽研究科指揮専攻前期修士課程修了。指揮を汐澤安彦、遠藤雅古、渡邊暁雄、ヴィクター・フェルドリブル各氏のもとで学ぶ。大学院2年次より作陽音楽大学に勤務、オーケストラ、吹奏楽及び指揮法を担当。1994年3月まで専任講師、助教授を務めた。1990年より2年間北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルト音楽大学に留学。カール・ハインツ・プレメケ、ペーター・ヤコビー教授らのクラスで、主にオペラの指揮を学ぶ。また、モーシェ・アツモン、ガリー・ベルティエーニ、ミハエル・ギーレン、マイクロシュ・エルディエー各氏からも指導を受ける。留学中より、ルーマニア国立オペラフィルハーモニー交響楽団、チェコの西ボヘミア交響楽団、ポーランドのフィルハーモニア・ズデッカ等の定期演奏会に出演。またドイツではオフエンバックのオペレッタ『CROQUEFFER』の公演を指揮した。日本では、これまでに群馬交響楽団をはじめ、千葉交響楽団、東京シテフィル、神奈川フィル、名古屋フィル、大阪フィル、オーケストラアンサンブル金沢、岡山フィル、瀬戸フィル、広島交響楽団、札幌交響楽団等を指揮している。またオペラ分野では、『フィガロの結婚』『コシ・ファン・トゥッテ』『魔笛』『椿姫』『リゴレット』『アイーダ』『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『トゥーランドット』『カルメン』『こうもり』『御柱』等を、バレエ分野では『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『ドン・キホーテ』等を指揮している。2003年1月、ハイドンの『無人島』で新国立劇場に初登場した。



## 中田 博人 (ピアノ)

岡山県出身。岡山県立倉敷青陵高等学校卒業。くらしき作陽大学大学院音楽研究科修了。オーストリア、グラーツ国立音楽大学 Postgraduate課程 (Post Master) を最優秀の成績で修了。2015年、第17回さくらびあ新人コンクール第3位。2018年、ヴァルチドーネ国際コンクール Cat.D において第1位。2019年、タディーニ国際コンクール第2位など、国内外のコンクールで入賞。日本演奏連盟、日本音楽教育学会、日本音楽表現学会、広島西音楽家協会、各正会員。



## 乗松 恵美 (ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院独唱科修了。京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。マダム・パタフライ国際コンクール in 長崎優勝。ひろしまフェニックス賞、広島文化賞新人賞受賞。様々なオペラで主役を務めるほか、合唱曲のソリストとしても高い評価を得ている。現在、故郷の広島を拠点に、各地で演奏活動を行う。日本演奏連盟、日本音楽学会、「ヒロシマと音楽」委員会会員。エリザベト音楽大学講師。ミリオンコンサート協会所属。藤原歌劇団団員。



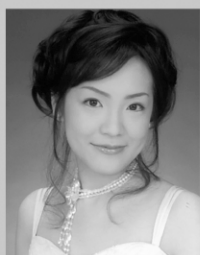
## 枝松 瞳 (ソプラノ)

山形県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学別科修了。日本歌曲振興会第18回日本歌曲コンクール声楽部門第1位及び四家文子賞受賞。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部29期修了。オペラでは文化庁新人育成オペラアンサンブル公演『イル・カンピエロ』(ガスパリーナ)で本格デビュー後多数オペラに出演。また宗教曲のソリストとしても活躍。2012年より広島に拠点を移し、県内外において幅広く活動。広島市在住。



## 平福 知夏 (ソプラノ)

広島市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽修士課程修了。卒業時に同声会新人賞受賞。第79回日本音楽コンクール声楽部門入選や第22回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門奨励賞など多くのコンクールで入賞。第124回日本演奏連盟推薦新人演奏会、及び広島プロミシングコンサート2005出演。広島国際文化財団中村音楽奨学生。現在は広島を中心にオペラやコンサートの舞台上で活動する傍ら、後進の指導も行う。あきクラシックコンサート実行委員会副会長。広島文化学園大学非常勤講師。



## 工谷 明子 (ソプラノ)

廿日市市出身。愛知県立芸術大学音楽学部音楽学声楽科卒業。定期演奏会及び卒業演奏会に出演。第10回全日本高等学校声楽コンクール広島県大会第1位。第12回さくらびあ新人コンクール第2位。平成25年さくらびあ小ホールでソロリサイタル開催。『こうもり』(アデーレ)、『メフィストフェレ』(マルゲリータ)等のオペラに出演。演奏活動の他、合唱指導などにも携わる。13代はつかいち観光親善大使。あきクラシックコンサート実行委員。



## 山口 水螢 (ソプラノ)

エリザベト音楽大学声楽専攻卒業。同大学院修士課程を首席にて修了。第5回東京国際声楽コンクール大学生部門第1位、東京新聞賞受賞。第19回さくらびあ新人コンクール第1位、さくらびあ大賞受賞。平成25年度後期はつかいちさくらびあ賞受賞。新進演奏家育成プロジェクト第22回オーケストラ・シリーズにて広島交響楽団と共演。現在、歌唱指導や舞台、コンサートなど多方面でジャンルに捕らわれない演奏活動を行っている。(株)クライスマュージックエンターテインメント所属アーティスト。



## 柴 久美子 (ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。ウィーン、シュツットガルトにて研鑽を積む。広島、東京、ソウル、済州島などでのリサイタルをはじめ、広響との共演、NHK-FM放送出演など幅広いコンサート活動を行う一方、『魔笛』、『カルメン』、『こうもり』他数多くのオペラで主役を演じている。またCD「日本抒情歌曲集 母に抱かれし頃」をリリース。さくらびあ市民オペラ会長。さくらびあ市民オペラ合唱団、女声合唱団詩葉の会指揮者。FMはつかいち番組審議委員。

## [音楽監督] 松本 憲治

## [企画・制作] はつかいち室内合奏団運営委員会

お問合せ・チケットの電話購入

## はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ

〒738-8509 広島県廿日市市下平良一丁目11-1

☎0829-20-0111

【チケット取扱時間】9:00～19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は翌平日

## アクセス

- 広島宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から徒歩約7分
  - JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分
- ※駐車場には限りがございます。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

## ご来場のみなさまへのお願い

- 体調不良(発熱・倦怠感など)及び感染症陽性者との濃厚接触がある方は、来場をお控えください。
- マスクの着用、こまめな手指の消毒、咳エチケットをお願いします。
- お客様同士の大声での会話や、出演者への掛け声などはお控えください。
- 楽屋での面会、出演者への贈り物は、ご遠慮ください。

その他、新型コロナウイルス感染症防止対策へのご協力をお願いいたします。



## はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”(さくら)



はつかいち文化ホールを拠点に演奏活動を行うプロ・アンサンブルとして、2020年4月に正式発足。5月に開催予定だった創設記念演奏会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、今回の演奏会が室内合奏団にとって初の単独冠主催公演となる。今後はウッドワンさくらびあでの公演だけではなく、「はつかいち ほほえみ(小学校訪問)コンサート」や「さくらびあ出張ふれあいコンサート」への団員派遣など、地域に根差した活動を行い、「より市民に親しまれる合奏団」を目指して活動を展開していく予定。※愛称の“SA・KU・RA”(さくら)は公募によるもので、廿日市市の木でもある桜の樹が市民の心を和ませるように、音楽で人々の心に楽しさを咲かせる咲(さ)く楽(ら)をイメージして付けられました。